

***BOM for Windows Ver.6.0 SR1 2015.01* リリ**

ースノート

Copyright © 2015 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

このドキュメントでは、BOM for Windows Ver.6.0 SR1 2015.01 の不具合修正について、ご案内しています。

なお、2015 年 1 月現在までに公開済みの BOM for Windows Ver.6.0 SR1 および各種製品の修正モジュールを同梱しております。

■■■ 不具合修正 ■■■	2
1. BOM Ver.6.0 SR なしから SR1 へアップデートした際に一部データが正常に引き継がれない不具合修正	
2	
■■■ 公開済みモジュール ■■■	2
1. SSL 3.0 脆弱性(CVE-2014-3566)に対応したモジュール.....	2
2. 特定条件下で BOM Helper サービスが「予期せぬ原因により終了しました」のエラーを出力しサービスの起動に失敗することがある不具合を修正.....	2

■■■ 更新履歴 ■■■

- 2013 年 06 月 BOM for Windows Ver. 6.0 リリース
- 2014 年 02 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SNMP トラップ受信機能 拡張モジュールリリース
- 2014 年 04 月 BOM 6.0 Rollup Package 2014. 4. 15 リリース
- 2014 年 10 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SR1/SQL Server オプションリリース
- 2015 年 01 月 BOM for Windows Ver. 6.0 SR1 2015.01 リリース

■■ 不具合修正 ■■

1. BOM Ver.6.0 SR なしから SR1 へアップデートした際に一部データが正常に引き継がれない不具合修正

- 2014 年 12 月 19 日に公開していた BOM Ver. 6.0 SR1 バージョンアップインストーラーを使用し BOM Ver. 6.0 SR なしから SR1 へアップデートした際に、以下のデータが正常に引き継がれず初期化されてしまう不具合を修正しました。
- 初期化されていたデータ
SMTP サーバー情報
SNMPトラップ送信先等の情報
アーカイブデータベース接続先情報
Oracle 接続設定情報
BOM Helper サービス設定情報(BOM Helper への接続パスワードや接続範囲等)
BOM マネージャーから BOM Helper への接続ポート番号(スナップインの設定)
BOM アーカイブマネージャーから BOM アーカイブサーバーへの接続ポート番号(スナップインの設定)
集中監視コンソールの接続ポート番号

■■ 公開済みモジュール ■■

下記の内容は Web サイトなどで公開済みの修正モジュールで修正済みの内容です。

BOM 6.0 SR1 2015.01 ではこれらのすべてを含んでおり、個別に修正モジュールを適用する必要はありません。

下のいずれかの内容に対応する修正モジュールを適用済みの環境に BOM 6.0 SR1 2015.01 を適用した場合、未適用の修正モジュールを自動で判断しすべての修正モジュールが適用された状態となる様インストールが実行されます。

1. SSL 3.0 脆弱性(CVE-2014-3566)に対応したモジュール

- SSL3.0 にて発見された脆弱性(CVE-2014-3566)の対策として、BOM で使用している SSLv3 プロトコルを使用しないように変更
- 2014 年 11 月 18 日公開:SSL 3.0 脆弱性(CVE-2014-3566)に対応したモジュール

2. 特定条件下で BOM Helper サービスが「予期せぬ原因により終了しました」のエラーを出力しサービスの起動に失敗することがある不具合を修正

- BOM を導入しているマシンで IPv4 及び IPv6 のアドレスを構成できる環境であった場合、BOM の Helper サービスを再起動(マシンの再起動含む)した時に、BOM Helper サービスが「予期せぬ原因により終了しました」のエラーを出力しサービスの起動に失敗する不具合を修正。
- 2014 年 11 月 18 日公開:BOM for Windows Ver. 6.0 SR1 向け BOM Helper サービス修正モジュール